



木曽林務課だより

11月

色とりどりの紅葉が散り、森の中が見通せる季節になると狩猟の時期です。この期間は、枝打ちなどの山作業の適期でもあります。狩猟と重なる時期に山に作業で入られる方に気をつけていただきたいことをお知らせします。

狩猟が始まります。山に入る際は目立つ明るい服装で

11月15日から2月15日（ワナ猟は3月15日まで）まで狩猟が行われます。長野県内の森林は、鳥獣保護区、休猟区などを除くとほとんどが猟ができる場所になります。狩猟者の方は、十分に気をつけて狩猟を行っておられますが、毎年国内のどこかで事故が発生しています。

明るい目立つ服装で入山、入林を。

狩猟対象となるイノシシやシカは、茶褐色から暗褐色であり、ツキノワグマは黒色で、スギ、ヒノキなどの常緑針葉樹等の中では人が見つけにくくなります。そのため、同系の褐色、黒色、ネイビー、グリーン、カーキ等の色の服装は、こうした動物に間違われやすく、**林内の風景に溶け込むミリタリーの迷彩柄は、そこに何か存在することさえ分かりづらく、特に危険です。**

そのため、森林作業などで入林される際には、できるだけ上着や帽子は、蛍光系のイエロー、オレンジなどの自然にない目立つ色の服装を身に付けてください。（図1）



図1 森林作業の服装例
改訂2版 チェーンソー作業の安全ナビ（林業・木材製造業労働災害防止協会）より引用（一部改変）

ワナには近づかないで。

シカ、イノシシなどを捕獲するためワイヤー式のくくりわなが設置されています。設置場所には、ワナの設置を示すプラスチック製の札（図2）が設置されていますので、事故防止のために、ワナやワナ等の設置札を見つけた場合も、近づかないようにお願いします。

登録番号		登録年度	年度
氏名		狩猟	
住所			
申請年度		登録知事	知事

図2 狩猟用のワナ標識票
長さ23.4cm、幅6.3cm

クマ等を近づけないよう行動しましょう。

クマ、サル等の動物が人の食べ物を覚えると、集落に近づいてくる原因になります。**弁当の食べ残しやジュースの空き缶などをかならず家に持ち帰りましょう。**